

## (別紙)平成19年度森林環境交付金(重点枠・追加要望分)採択事業一覧

金額は交付金ベース、千円単位

	方部	市町村名	対象分野	事業名	概算 事業費	事業概要
1	県北	福島市	森林整備の 推進	森林整備の推 進(福島市)そ の1	495	サル・クマによる農作物被害が顕著である福島市 町庭坂において、森林の強度の間伐等を行うこと で、見通しの良い森林空間を造成し、野生動物と の共生森林を形成する。
2	県北	福島市	森林整備の 推進	森林整備の推 進(福島市)そ の2	1,953	サルによる農作物被害が顕著である福島市飯坂 町において、電気木柵に沿って森林の強度の受 光伐等を行うことで、見通しの良い森林空間を造 成し、野生動物との共生森林を形成する。
3	県北	二本松市	森林整備の 推進	野生動物との 共生森林整備 事業	4,327	イノシシによる農作物被害が増加している二本松 市岩代・東和において、森林の整備を行うことで、 山林と農地の境界を明確にし、野生動物との共生 森林を形成する。
4	県北	川俣町	森林整備の 推進	森林整備の推 進(川俣町)	930	イノシシによる農作物被害が増加している川俣町 小綱木において、森林の抜き伐り等を行うことで、 見通しの良い森林空間を造成し、野生動物とのす み分けによる共生を図る。
5	県南	西郷村	森林整備の 推進	森林整備の推 進(西郷村)	670	クマの出没頻度が高い西郷村羽太において、人 里に接した森林の除伐等を行い、緩衝帯をもうけ ることで、小学校児童の通学時の安全確保など人 間とクマの出会い頭の事故防止を図る。
6	会津	西会津町	森林整備の 推進	野生動物との 共生森林の整 備	2,010	サル・クマによる農作物被害が広がる西会津町奥 川・出戸地区において、森林の抜き伐り・林床整 備を行うことで、野生動物の生息地と集落の間に バッファゾーンを構築し、野生動物とのすみ分 けによる共生を図る。

## (別紙)平成19年度森林環境交付金(重点枠・追加要望分)採択事業一覧

金額は交付金ベース、千円単位

	方部	市町村名	対象分野	事業名	概算 事業費	事業概要
7	南会津	只見町	森林整備の 推進	野生動物との 共生森林の整備	5,000	サルによる農作物被害が広がる只見町塩ノ岐において、人家や農耕地に接した森林の強度の間伐や下刈り等を行い、緩衝帯をもうけることで、サルが身を隠す場所を減らし人里から遠ざけ、農作物の被害の抑制を図る。
8	南会津	只見町	森林整備の 推進	里山保全林の 整備(只見町) その1 後山	2,630	手入れが行き届かず放置された只見町後山の森林において、間伐を行いつつ間伐材を利用した丸太筋工を実施することで、土砂災害の防止を図る。
9	南会津	只見町	森林整備の 推進	里山保全林の 整備(只見町) その2 向山	1,637	手入れが行き届かず放置された只見町向山の森林において、間伐を行いつつ間伐材を利用した丸太筋工を実施することで、土砂災害の防止を図る。
10	南会津	只見町	森林整備の 推進	里山保全林の 整備(只見町) その3 下ノ山	691	手入れが行き届かず放置された只見町下ノ山の森林において、間伐を行いつつ間伐材を利用した丸太筋工を実施することで、土砂災害の防止を図る。
11	南会津	南会津町	森林整備の 推進	野生動物との 共生森林の整備 (南会津町) その1 藤生	5,000	サルによる農作物被害を受けている南会津町藤生地区において、集落との境界の森林の強度の間伐や下刈り等を行い、緩衝帯をもうけることで、サルを侵入しにくくし田畑への被害の減少を図る。
12	南会津	南会津町	森林整備の 推進	野生動物との 共生森林の整備 (南会津町) その2 湯ノ花	4,311	サルによる農作物被害を受けている南会津町湯ノ花地区において、集落との境界の森林の強度の間伐や下刈り等を行い、緩衝帯をもうけることで、サルを侵入しにくくし田畑への被害の減少を図る。

(別紙)平成19年度森林環境交付金(重点枠・追加要望分)採択事業一覧

金額は交付金ベース、千円単位

	方部	市町村名	対象分野	事業名	概算 事業費	事業概要
13	南会津	南会津町	森林整備の 推進	野生動物との 共生森林の整 備(南会津町) その3 川衣	2,835	サルによる農作物被害を受けている南会津町川衣地区において、集落との境界の森林の強度の間伐や下刈り等を行い、緩衝帯をもうけることで、サルを侵入しにくくし田畑への被害の減少を図る。
14	相双	相馬市	森林整備の 推進	野生動物と共 生できる森林 整備事業	1,165	サル・イノシシによる農作物被害が広がる相馬市山上地区において、森林の抜き伐り等を行い、林地内に地元住民との協働作業により野生動物のエサとなる実のなる木を植栽することで、エサ場を森林内にとどめ耕作農地での被害の減少を図るとともに、動植物の多様性を学べる森林環境学習の場としても活用していく。
合計					33,654	